

▽発信元・お問い合わせ先はこちら  
「人材ビジネスの発展を通じてヒトの成長を迫及する」  
株式会社ヒューマンビジネス・コンサルティング  
TEL : 03-6909-8644/0120-973-644  
E mail:info@hb-consulting.jp

## 独法汚職:贈賄側に過剰支払い 派遣単価水増し

独立行政法人「石油天然ガス・金属鉱物資源機構」(川崎市)の海洋資源探査事業への要員派遣を巡る汚職事件で、収賄容疑で逮捕された元機構職員、平山裕章容疑者(41)が贈賄側の岩松一夫容疑者(62)経営の人材派遣会社から要員を受け入れる際、派遣される従業員の労務単価基準を高め設定し、水増し請求させていたことが機構への取材で分かった。同社は水増しで約2000万円の過剰な利益を得ており、両者の癒着ぶりが浮かん

だ。  
平山容疑者は探査事業のサブリーダーだった08年5月～09年10月、岩松容疑者に船員と調査員採用の便宜を図った見返りに、16回にわたり計約3000万円を受け取ったとして警視庁捜査2課に逮捕された。

機構などによると、岩松容疑者は08年3月～今年3月、約20人の要員を探査事業に派遣した。この際、給与基準などを決める権限を持っていた平山容疑者と事前に相談。平山容疑者は、技術レベルが基準に達していない一部の要員についても本来より高額な労務単価基準を適用し、人件費を水増し設定した。

この結果、岩松容疑者の会社には、水増し分約2000万円を含め、2年間で3億数千万円の売上金が入り、粗利益は1億数千万円に上ったという。

外部からの指摘で内部調査をした機構は昨年12月、人件費の水増しを把握。水増し分は既に岩松容疑者の会社から返還させている。

平成 22 年 11 月 19 日 毎日新聞